

# クラブ・ファンタジーの夕

ピアノ  
声  
ヴァイオリン



11月6日(金) 午后6時半

大阪ガスビルホール

THE CLUB FANTASIE

*Asahi  
Beer*



*It's a beautiful concert of  
colours, foams, flavours and  
tastes all in best harmony.*

＜□□□＞

お風呂はガスで



大阪ガス

## 出 演 者 の 紹 介

ピアノ	日下部和子
	西川尚子
	島田きみ子
	岡本房子
	横田新子
ヴァイオリン	島暢子
独唱	岡田晴美
	畠さみ子
伴奏	伊丹多摩子
	原竹子

出演者は全部神戸女学院音楽部に学び、且つその有志よりなるクラブ、ファンタジーの会員であります。既に後近の指導にあたっているものもありますが、又ラジオ、リサイタル等を通じて社会的に活動しているものもありますがまだまだ音楽徒として勉強中であります。皆様の御後援と御鞭撻を得ますれば幸ひと存じます。

クラブ、ファンタジーとは

かつて神戸女学院音楽部に学んだものの有志よりなるささやかなグループであります、学窓を離れた後もお互にはけまし合ひ、研究に修養と共に進み、私達の音楽勉強を通じて、いさかなりとも社会のお役にたつたらといふ願いを持って誕生いたしました。

家具と室内の装飾の 御用命は

米 田 洋 家 具 店

生田区三宮町三丁目二八 省線元町東半丁浜側  
電話 舟合 ②0622番

## — プ ロ グ ラ ム —

I イ、水のたわむれ  
ロ、道化師の朝の唄

ラ ヴ エ ル 曲  
ラ ヴ エ ル 曲  
日 下 部 和 子

II イ、祈 り  
ロ、徒 步 旅 行  
ハ、ヴ ア イ ラ の 歌  
ニ、園 丁  
ホ、"ただひとり淋しく"

—歌劇“マノン、レスコー”より

ウーフルフ  
ドウビツシイ曲  
ドウビツシイ曲  
ドウビツシイ曲  
ドウビツシイ曲  
ドウビツシイ曲  
プチ一ニ曲

岡 田 晴 美  
伴奏 伊 丹 多 摩 子

III ピ ア ノ 奏 鳴 曲 作品 110

ペートーヴエン曲  
西 川 尚 子

### — 休 憇 —

III ヴ イ オ リ ン 奏 鳴 曲 No. 9 K 377

モツアルト曲  
ヴァイオリン 島 譲 子  
ピアノ 横 田 新 子

V イ、水 の 反 映  
ロ、喜 び の 島

ドウビツシイ曲  
ドウビツシイ曲  
岡 本 房 子

VI イ、今 朝 の 朝 け

穂 積 皇 子 詩  
島 岡 猛 曲

ロ、笛

竹 友 藻 風 詩  
清 瀬 保 二 曲

ハ、白 月

三 木 露 風 詩  
宮 原 祯 次 曲

ニ、い づ こ へ  
ホ、若 き 尾

シユーベルト 曲  
シユーベルト 曲

烟 き み 子  
伴奏 原 竹 子

VII アンダンテ、スピアナートとポロネーズ No. 22

シ ョ パ ン  
島 田 君 子

# — PROGRAM —

I	a) Jeaux d'eau b) Alborada del Gracioso' Miroirs No. 4	Ravel Ravel Kazuko Kusakabe
I	a) Gebete b) Fussreise c) Gesang Weylas d) Der Gartner e) "Sola Perduta" from "Manon Lescaut" Puccini	Wolf Wolf Wolf Wolf Harumi Okada
		Accompnist: Tamako Itami
III	Sonata Op. 110	Beethoven Naoko Nishikawa

## — Intermission —

III	Violin Sonata No. 9. K 377	Mozart Violin Nobuko Shima Piano Shinko Yokota
V	a) Reflets dans L'eau b) L'Isle joyeuse	Debussy Debussy Fusako Okamoto
VI	a) Kesa no Asake b) Fue c) Haku Zuki d) Wohin? e) Die junge Nonne	Takeshi Shimada Yasuji Kiyose Teiji Miyahara Schubert Schubert Kimiko Hata
		Accompanist: Takeko Hara
VII	Andante Spianato & Polonaise, Op. 22	Chopin Kimiko Shimada

## — 曲 目 解 説 —

### I イ、水のたわむれ

ラヴエル (1837—1875)

1901年の作、ドゥビツシイの「水の反映」の影響を多分に受けているが、和声的構成に又スタイルにラヴエル独特的の個性がでている。曲は題目の示すように水の波紋、虹と閃めく陽光のしぶき、みだれ落つる噴霧が極めて印象的に音描されている。

### ロ、道化師の朝の唄

1905年の作、六曲よりなるピアノ組曲「鏡」の中の第四番目の曲、スペイン的情緒に満ち、機智とユーモアが発刺とした律動と旋律の間に躍動している。道化師は熱情と希望をもつて恋人の窓の下でセレナードを歌うが恋人は応じない。そこで今度は熱情と希望を持つて訴えつつギターを狂おしげにかきならしながら、梯子をのぼり恋人の窓に達しようとする。そして、幾度の失敗の後遂に最後の楽句と共に窓に達し得た。

### II

ヴォルフ (1860—1903)

ヴォルフはメーリケの53の詩に作曲した。下の歌曲は何れもその中に含まれている。

### イ、祈り

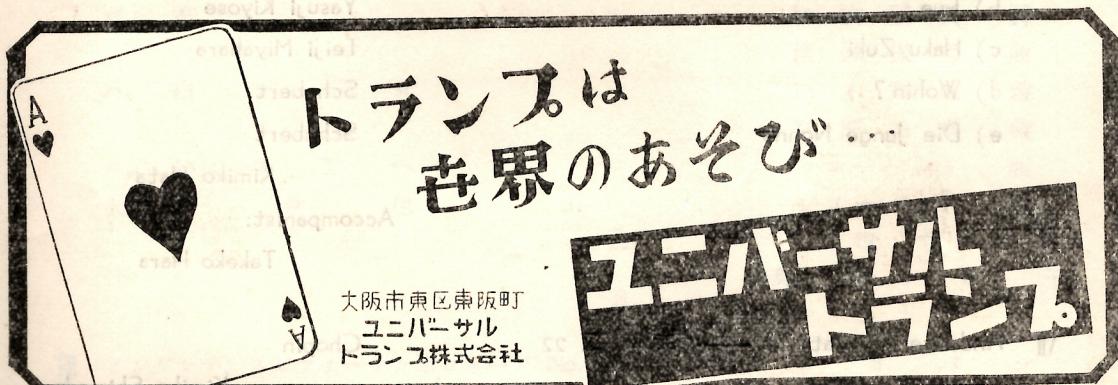
「主は取り主は与え給う、凡ては主のみ手にあり、されど、喜びも悲しもほどほどに堪え得られる程にぞと祈りまつる」との敬虔な感動にみちた宗教的な歌である。

### ロ、徒歩旅行

さんさんと輝く朝日の中を、私は森や丘を歩く。昔アダムがパラダイスで感じたような幸福を感じつつ。我々の創造主に愛と賞め讃えの歌を歌いつつ。私の人生はこの朝の歩行のうちにこそあるのだ。『祈り』とは対象的な軽快な浮々した曲である。

### ハ、ヴァイラの歌

ヴァイラはオルブリートの島の女神の名である。彼女は堅夢をならしつつ月夜の海辺でオルブリート島の美しさを歌う。伴奏のアルペジオはハープを表わす。「輝く島オルブリートよ、陽光は霧とたちのぼり、神の頬をも濡らすばかり、古えよりの潮はお前の腰のあたりにのぼつてくる、主達はお前の前にひれしうしている」



ニ、園

丁

「馬のひづめの音がする。馬車には羽根帽子をかぶつた麗人がのつている。その羽根をくれるなら私はこの園の花全体と取り換えても惜しくはない。」

ホ、ただひとり淋しく

アツチーニ (1852—1924)

歌劇『マノンレスコー』より

マノンが好色の貴族ジエロントの手を逃れ、愛人グリューと砂漠にたどりつく、疲れてたマノンにのますべくグリューが水を求めて探しに行つていて間にマノンはひとり淋しく死んで行くべき自分の絶望的な気持をうたう。こし方、行く末、愛する人とは引き離され、会つた時はもう死の迫つている時、招くのは安らかな墓場、むなしくすてられて砂漠にひとり死ぬ身の果なさを嘆くのである。

ソナタ 作品 110

ペートーヴェン (1770—1827)

1821年の作、ペートーヴェンの最後の三つソナタの中最も幽婉で冥想的な情趣に溢れた曲である。

第一楽章 モデラート、カンタビーレ、モルト、エスプレシヴォ 変イ長調四分の三拍子

曲は自由なソナタ形式で、各部が混然として連つていて。歌謡曲的な第一主題と、アルページオの巧みな経過句によつて連がる。

第二主題の間には普通のソナタ形式におけるような対象的なものではなく、その提示部では反復はない。

展開部は僅か十六小節で再現部が続くが、ここでは第一主題の動機が巧みに転調され、第二主題は少し変型されて現われ、終結部へとけこんで行き、最後に第一主題を回想して終る。

第二楽章 アレグロ、モルト へ短調 性格的に二拍子で書かれた三部形式のスケルツオと見られる。

第一部 冒頭に四小節の弱部と、強部が応答をなし、最後の部分で「私は放蕩者」という当時の民謡から主題をかりた部分が現われる。

第二部 トリオにあたるこの部分は変ニ長調のA、B、Cの三部形式で右手と左手が交叉して装飾的効果を出す。

第三部は 第一部の再現であるが、へ長調の終結部で終つていて。

第三楽章 アダジオ、マノン トロッポ 四分の四拍子

この楽章は第四楽章の序奏の部で、絃楽合奏を思わせるマリオーネ・ドレンテ（悲しき宣叙調）は明確な旋律が豊富で美しい。全体を通じて、十六分音符の伴奏が一貫して流れている。

第四楽章 アレグロ、マノン、トロッポ 八分の六拍子

藍綬褒賞に輝く

河合ピアノ  
オルガン

三木樂器店



三木樂器店

神戸市元町三丁目 電話元町④0670

大阪市必賀橋南詰 電話南(75)2600

三声のフーガで、主題は第一楽章の主題から転化したものである。中間部でアリオーゾ・ドレンテが現れる。終結部がト短調で始ると対位法的な巧みな技巧をもつて、主題の収縮、拡大を二重、三重に行い、複雑に展開しつゝ後に和声的構成によつて赫々たるクライマックスを築きあげ、美しい和音の響のうちに曲は終る。

#### IV 奏鳴曲 No. 9 K377 へ長調

モツアルト (1756—1791)

1781年の作、この曲は普通のソナタ形式によらず第二楽章が奏鳴曲になつてゐる。

第一楽章 アレグロ、へ長調 二分の二拍子、

この楽章は軽く快活な気分のものであり、第一主題が再現部で現われず、第二主題が原調で反復しられてコーダに続いているのが特徴である。

第二楽章 アンダンテ、ニ短調 四分の二拍子、

主題と六つの変奏曲より成り、三つの楽章のうち一番重点のおかれている部分である。優雅な主題は先ずピアノで奏されザイオリンがそれを繰り返す。最後の部分ではシシリー島の踊り《シチリアーナ》となり、コーダへと続く。

第三楽章 テンポ、ディ、メヌエット、へ長調四分の三拍子、

三部形式のメヌエットであるが、トリオでは変ロ長調に移り、ピアノがリードしてゆく。第三部の後には長いコーダの部分がついている。

#### V オ、水 の 反 映

ドウビツシイ (1862—1918)

1905年の作、ピアノ独奏曲《三つの映像》の第一曲である。水面に映るもの、影のゆらめき、もつれ、明滅するすがたが絵画的に描かれて美しい詩趣を醸しだしている。

#### ロ、喜 び の 島

1904年の作、喜びの島は、その笑いと譏刺とした快樂でもつて、陽気な恋人達に眼をかける。恋人達は、優しい瞳に送られながら幸福の岸に近づいて行く。音楽の官能的な曲線はあくまで南洋的である。

#### VI ニ、何 処 へ ？

シュー・ベルト (1797—1828)

ミュラーの一連の詩に作曲された《美しき水車小屋の女》のうちでもこの曲は特に多くの人々に愛唱されている。流れも清い小川のせせらぎの音に心はいざなわれて行く。何処へ？水の精と共に旅へ出よう。何処へ？水車のあるところへ？

## 山岡小兒科

## 入院隨意

院長

山岡義郎

電話 芦屋三七九一

芦屋市公光町二八  
阪神・電停芦屋北へ一丁

## ホ、若き尼

シユーベルト

魔王と並び称せられる、シユーベルトの歌曲のうちで最も劇的な曲である。

若き尼は救世主の花嫁、嵐吹く暗い夜に激しく動搖した心もやがて平和を取り戻した花嫁はこの世のきずなを断ち切れんことを切願する。鐘の音の清いひびきに若い尼はひたすら祈り求める。

### VII マレダンテとポロネーズ作品 Op. 22 ト長調

ショパン (1810—1849)

この曲は元来ピアノと管絃楽の為に書かれたものであるが、現今ではピアノのパートで独奏される。アンダンテの部分はポロネーズの序奏部である。原語のアンダンテ・スピアナートとは平均せる静かな並歩調の意である。この部分は抒情詩とも云ひ得る夜想曲的で優美なものであり又その可憐な歌は水面の波紋を思わすような低音部の上に奏でられる。

ポロネーズは三部形式で外的な美に満ち、曲趣はあくまで明るく派手やかで、装飾的である。後年のショパンの作のような幽婉な内面的な詩美に欠くとはいえ、若いショパンの姿が偲ばれる。短い、強い序奏に続いて、主題が現われ、変奏的に装飾を加えつつ繰り返えされる。

ハ短調の第二主題は特にポーランド的である。曲は華やかな終尾で燐然として終る。



DIAPASON PIANO

大 阪 樂 器

大阪市東区高麗橋一ノ一六 三越東入

TEL. 北浜 5165

芦屋市精道町八〇 (精道小学校北側)

TEL. 芦屋 2315

(各種) ピアノ

ヴァイオリン

オルガン

販賣交換